

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | お客様への身体拘束は行っていないが、お客様に対する職員の声掛けが語気が強く感じる事があり、今後お客様への声掛けの仕方をより適切なものにしていきたい。 | お客様が心穏やかにGHゆひもやで生活できるよう、職員は適切な声掛けを心がける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3ヵ月毎の身体拘束についての勉強会にてスピーチロックやお客様に対する声掛けの仕方について職員と考え、周知する機会を持つ。 ・上長、管理者が職員の指導を行うだけでなく、適切でない声掛けがあれば職員同士でも注意、改善の為の声掛けを行うよう、再度職員に周知する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 23 | GHでの生活に対して要望を出してくれるお客様がいる一方、要望の聞き取りが不十分なお客様がおり、お客様の満足度が向上する為の取り組みをやりきれていない。 | お客様が楽しく生活できるよう、お客様の声を普段から良く聞き、イベントや取り組みを行っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の要望を聞き取り、企画ノートに記入し企画の参考とする。 ・普段からお客様が楽しめるような食事イベントや外出、入浴のイベントを企画する。 ・ご家族様からの声も定期連絡で取り入れ、企画にする。 | 6ヶ月 |
| 3 | 49 | 日常的な外出支援の観点で、屋内での運動は行っているが、屋外での歩行訓練の頻度が少なくなっており、お客様への外出支援が不足していた。 | お客様が閉塞感を感じないように、屋外歩行訓練や車での外出、買い物に出掛ける機会を作る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からお客様に屋外歩行訓練の声掛けを行い、施設外に出る機会を持つ。 ・職員の人員を調整し、お客様と車で出掛ける日を計画する。 ・お客様が買い物に行けるようご家族様とも連絡を取り、お客様に買い物に出掛け頂く。 | 3ヶ月 |
| 4 | 5 | 現在地域運営推進会議の実施を中止としている為、前年度程地域担当者やご家族様と事業所の取り組みや意見の交換が出来ていない。 | 地域担当者、ご家族様と事業所の取り組みを伝達し、情報共有を行い、協力関係を築いていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・書類を送付するだけでなく担当者やご家族様に連絡、必要ならば訪問し、資料の内容確認と共に意見の聞き取りや運営に対してのアドバイスや要望を伺い、連携を強めていく。 | 6ヶ月 |
| 5 | 33 | 入居から年数が経っているお客様もおり、お客様が体調を崩すこともある中で緊急時対応の仕方や、医師の対応の仕方についてのご家族様の意向の更新が必要であった。 | お客様の緊急時対応について不安がないよう係りつけ医との連携方法や、ご家族様の意向の更新を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の緊急時対応についてご家族様と相談し、情報を整理して全ての職員が緊急時対応が出来る様にまとめておく。 ・日頃から医師と連絡を取りお客様の体調の変化について相談を行い、情報を共有しておく。 | 3ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。